
第29回発達障害サポーター研修会のご案内

主催 柏市発達障害者支援協議会

事務局 NPO 法人 自閉症サポートセンター

6月23日(木) 19時から21時
柏市健康管理センター2階会議室
柏市柏下73番地(柏市民体育館横です)

---- (今回の話題です) -----

若松 かやの先生 (岡山県 ぐるぐるめろん島 代表)

「ゆうちゃんの歩み」でお馴染み、日本を代表する感覚統合の先生です。

「幼児のための感覚統合療法」

机の上に、りんごが一つ置いてあるとします。りんごからは甘いにおいがしたり、赤い色だったり、つるつるしていたり、といろいろな感覚刺激が出ています。それらは脳の中にはいて、過去に「りんご」ということばを知ったこととか、食べた経験など一緒になります。そして、出てくるのが「りんご」ということばや食べるという運動ということになります。我々の生活はこれらのことが何度もくりかえされています。この「現在の感覚刺激や、過去の経験や記憶」を感覚統合といいます。つまり入力からのいろいろな感覚刺激と脳の中の記憶などの情報を一つにまとめて行動を決定するわけです。

感覚統合療法は、アメリカのエアーズという女性の作業療法士が、1970年当時アメリカで問題になっていた学習障害児のための治療法として開発しました。日本にも20年ほど前に導入されて、学習障害児や自閉症児のリハビリテーション、療育実践として、主に医療現場(作業療法)で発展してきました。この療法では、子どもの学習、行動、情緒あるいは社会的発達を脳における感覚間の統合という視点で分析し、治療的介入を行います。講師の若松さんは、その第一人者として、切れ味するどい先生です。いつものサボ研とはまた違った雰囲気でご参加ください。

★ 参加希望者は

自閉症サポートセンターまで tel/fax 04-7105-7299

メールは js-center@jcom.home.ne.jp